

南台四丁目西防災新聞

今回は、指定避難所開設訓練&防災訓練に関するお知らせです。

2013.02.24 日曜日 AM10:00
新山小学校避難所開設訓練

西
中野区南台四丁目西町会



起震車



煙体験

2013年2月24日(日)午前10時より新山小学校において避難所開設訓練を行います。防災新聞でも新年号で大まかな新山小学校避難所の概要をお知らせいたしましたが、今回は避難場所へ安全に避難したと仮定し、指定避難所の新山小学校へ移動する訓練から始めます。参加される皆さんは午前9時30分より町会旗の先導により新山小学校避難所へ移動して頂きます。



2013年2月 防災
訓練号
発行第5号

発行元
南台四丁目
西町会
防災・防火担当
編集 鳥屋尾

地震に対する備えは万全？

南台四丁目西町会の皆さん、これまでの防災新聞では、やがて来るであろう東京直下の大地震での予測や安全な場所への逃げ方などお知らせしましたが、いつ起こるか分からない大地震でも生き残るためにはやはりご自身の普段からの「減災意識」が必要ですね。阪神・淡路大地震では、自宅の倒壊や家具の転倒による圧迫等で多くの方が亡くなられました。焼死者の多くも、倒壊した屋根や家具に挟まれて逃げ出せなかったことが原因であるといわれています。私たちの住むこの南台地区も道路は狭く、古い木造家屋が極度に密集し、災害危険度は以前お知らせした通り最大級で、とても半端な危険度ではありません。ご自宅の耐震性は大丈夫ですか？家具の転倒防止はされていますか？広域火災が無いご自宅での震災直後三日間は自力で生きる事が基本です。家族の食料や水の備蓄は大丈夫ですか？持病の医薬品は用意されていますか？先ず事前の準備としての自助を求められます。

新山小学校避難所開設訓練
次は共助です。広域火災で罹災したり、家屋倒壊でご自宅での生活ができなくなった場合は避難所で生活を送るようになります。そこで今回の訓練は住民の皆さんがコーシャハイム中野弥生町へ無事に逃れることができ、残念ながら多くの家屋が被災し、一時的に避難生活を送らなければならなくなるという場面を設定し行われます。つまり最悪のケースを想定したものです。現実には阪神淡路では多くの家屋が被災し人々は長期に亘って避難所での生活を余儀なくされました。当訓練では、仮設トイレの設置、避難所間仕切り組み立て、無線機操作、炊出し、袋詰め、浄水器、発電機操作など機材を使ったものや、消防署の協力による防災訓練を合わせて行います。防災訓練では、起震車での震度体験、煙体験ハウスの煙からの逃れ方訓練、初期消火訓練、救出・救護訓練などを行います。また、地震災害コーナーとして写真パネルなどを展示して阪神淡路大震災の教訓、耐震補強などの情報提供・相談を行います。必ず来るといわれる東京直下の大地震。皆さんひとりひとりが身構え、いつ起きても慌てずに対処でき、ともに助け合えることができるよう準備しましょう。

災害時の心構えについて
防災新聞は今回「前号」ですが町会の皆さんへは、まとめとして、保存版冊子「さあ逃げよう」を各戸配布いたします。これは、誰が皆さんに避難情報をお知らせし、誰を中心に避難し、避難したのちにどのような行動するかを簡単に記したものです。また、避難にあたっては町会防災会の皆さんが中心的な役割を担いますが統一した行動基準としての町会役員、世話人のための「避難誘導の手引き」を作成し毎年度、配付いたします。防災、減災は何度も申し上げますように、自助、共助が中心となります。あくまで公助は最終段階で効果を発揮するものでしかなく初期段階は私たち自身で動かなくてはなりません。二年を経過した後の東日本大震災の状況を考えますと過大に初期の段階から行政に期待を寄せることは出来ません。なんとか自分たちで出来るだけのこと、はしなればならないと考えるのが現実的ではないでしょうか。裏面に二月二十四日(日)に行われます避難所開設訓練についての手順を記します。今回は小学校児童、先生方、消防団、災害支援ボランティア、消防署員など多くの地域内外の皆さんが参加されます。地域住民の皆さんで訓練を大いに盛り上げましょう。